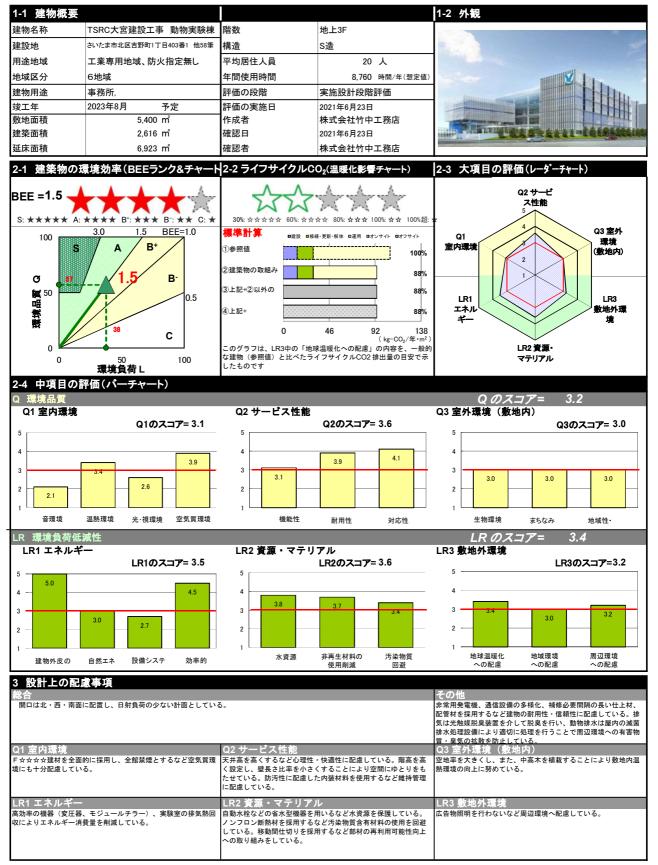
R03環004.xlsx 結果

【**八5**BEE[®]さいたま2016年版 ■ 評価結果 ■

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用

使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.



- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LP: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCOz排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

R03環004.xlsx スコア

 CASBEEさいたま2016年版

 TSRC大宮建設工事 動物実験棟

 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:
 CASBEEさいたま2016年版

7 7				欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:	•	CASBE	,_		
~-	アシー	+	実施設計段階						
記慮	項目			環境配慮設計の概要記入欄		重み		重み	全体
		- - T	[AND AND THE HILL AND THE PARTY	評価点	係数	評価点	係数	
	室内		境品質			0.40		_	3.2
	音環均				2.1	0.15	-	-	2.1
Ė			 【音レベル		3.0	0.40	-	-	<u> </u>
		遮音			1.8	0.40	-	-	
		1	開口部遮音性能		1.0	0.60	-	-	
		2	界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-	
		3	界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
ŀ	1 2	<u>4</u> 吸音	界床遮音性能(重量衝撃源)		1.0	0.20	-		
2	温熱理				3.4	0.35	-	-	3.4
_[室温制	川御		3.8	0.50	-	-	
		1	室温	23℃の設備容量を確保	4.0	0.38	-	-	
		2	外皮性能	窓システムSC=0.175、U=2.92、屋根U=0.54、外壁U=0.67、外床U=0.68	5.0	0.25	-	-	
ŀ	2 2	2 湿度制	ゾーン別制御性 細		3.0 3.0	0.38	-	_	
ŀ		空調方			3.0	0.20	-	-	
3	 光 · 視		, , , ,		2.6	0.25	-	-	2.6
	3.1	昼光和	川用		1.8	0.30	-	-	
		1	昼光率		1.0	0.60	-	-	
		2	方位別開口		-	-	-	-	
ļ	0.0		昼光利用設備 対策		3.0	0.40	•	-	
	3.2	グレア 1	対束 昼光制御		1.0 1.0	0.30 1.00	-	i -	
ŀ	3.3	照度	生儿前 坪	2階臨床検査室:500Lx	4.0	0.15	-		
ŀ		照明制	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	中央監視にて各種制御が可能	5.0	0.25	-	-	
4	空気質	貫環境			3.9	0.25	-	-	3.9
	4.1	発生源	対策		4.0	0.50	-	-	
ļ		1	化学汚染物質	建築材料はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	-	-	
	4.2	換気	45	】 2階臨床検査室: 換気量=30m3/h・人以上確保	3.3 4.0	0.30 0.33	-	-	
		2	換気量 自然換気性能	Z陷临床便宜至: 授以重一30III3/II·人以工催床	1.0	0.33	-	_	
				】 給気口は汚染源の無い方位に計画、給気位置と排気位置の距離6m				-	
		3			5.0				
		3	取り入れ外気への配慮	以上確保	5.0	0.33	-	-	
	4.3	運用管	[]理		4.5	0.20	-	-	
	4.3	運用管	T理 CO₂の監視	管理マニュアルを整備	4.5 4.0	0.20 0.50	-	- - -	
12		運用管 1 2	F理 CO ₂ の監視 喫煙の制御		4.5 4.0 5.0	0.20 0.50 0.50	-	- - - -	3.6
		運用管 1 2 ご ス性	F理 CO ₂ の監視 喫煙の制御	管理マニュアルを整備	4.5 4.0	0.20 0.50	-	- - - -	3.6 3.1
	サート機能性	運用管 1 2 ピス性	F理 CO ₂ の監視 喫煙の制御	管理マニュアルを整備	4.5 4.0 5.0	0.20 0.50 0.50 0.30	-		
	サート機能性	運用管 1 2 ごス性 生 機能性	下理 ○○2の監視 喫煙の制御 能 ・使いやすさ 広さ・収納性	管理マニュアルを整備	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0	0.20 0.50 0.50 0.30 0.40 0.40 0.33	-		
	サート機能性	運用管 1 2 ごス性 生 機能性 1 2	序理 CO ₂ の監視 喫煙の制御 能 ・使いやすさ 広さ・収納性 高度情報通信設備対応	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0	0.20 0.50 0.50 0.30 0.40 0.40 0.33 0.33	-	- -	
	サーl 機能性 1.1	運用管 1 2 ごス性 生 機能性 1 2 3	F理 CO2の監視 喫煙の制御 能 ・使いやすさ 広さ・収納性 高度情報通信設備対応 バリアフリー計画	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0 3.0	0.20 0.50 0.50 0.30 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33	-	- -	
	サーl 機能性 1.1	運用管 1 2 ごス性 機能性 1 2 3 心理性	F理 CO2の監視 喫煙の制御 能 ・使いやすさ 広さ・収納性 高度情報通信設備対応 バリアフリー計画 E・快適性	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0 3.0 3.0	0.20 0.50 0.50 0.30 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33	-	- -	
	サーl 機能性 1.1	運用管 1 2 ごス性 生 機能性 1 2 3	F理 CO2の監視 喫煙の制御 能 ・使いやすさ 広さ・収納性 高度情報通信設備対応 バリアフリー計画 E・快適性 広さ感・景観	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0 3.0	0.20 0.50 0.50 0.30 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33	-	- -	
	サーl 機能性 1.1	運用管 1 2 ごス性 性 機能性 1 2 3 心理性 1 2	を理しての2の監視でである。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0 3.0 3.0 4.0	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.30 0.33	-	- -	
	サーl 機能性 1.1	運用管 1 2 ごス性 生 機能性 1 2 3 心理性	F理 CO2の監視 喫煙の制御 能 ・使いやすさ 広さ・収納性 高度情報通信設備対応 バリアフリー計画 E・快適性 広さ感・景観	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0 3.0 3.0 4.0	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.30 0.33	-	- -	
	サーは機能性 1.1 1.2	運用管 1 2 ごス性 性 機能性 1 2 3 心理性 1 2		管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上 建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している。イ ンテリアパースにより事前検証を実施	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0 3.0 3.0 4.0	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.30 0.33	-	- -	
	サーは機能性 1.1 1.2	運用管 1 2 ごス性 生 機能性 1 2 3 心理性 1 2		管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上 建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している。イ	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0 3.0 4.0	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33	-	- -	
1	サート 機能性 1.1 1.2	運用管 1 2 2 2 2 4 機能性 1 2 3 心理性 1 2 3 4 4 4 1 2	F理 CO ₂ の監視 喫煙の制御 Pull	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上 建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している。イ ンテリアパースにより事前検証を実施	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0 3.0 4.0 4.0 4.0 3.5	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.3	-	- -	3.1
1	サート機能性 1.1 1.2	運用管 1 2 2 ごス性 機能性 1 2 3 心理性 1 2 3 4 4 4 4 5 1 2 2 4 4 4 4 5 4 5 6 6 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 8 7 8 7 8 7 8 8 7 8 8 7 8	を理	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上 建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している。イ ンテリアパースにより事前検証を実施	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0 3.0 4.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.0	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33	-	- -	
1	サート機能性 1.1 1.2	運用管 1 2 2 大性 機能性 1 2 3 心理性 1 2 3 総持管 1 2 4 4 4 4 5 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	を理 CO2の監視	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上 建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している。インテリアパースにより事前検証を実施 内壁・床に防汚性建材を採用、外部金属部材は亜鉛メッキ処理	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0 3.0 4.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.9 3.8	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50 0.50	-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート機能性 1.1 1.2	運用管 1 2 2 2 3 心理性 1 2 3 4 4 4 4 5 6 6 7 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	を理	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上 建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している。イ ンテリアパースにより事前検証を実施	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0 3.0 4.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.9 3.8 4.0	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33	-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3	運用管 1 2 2 2 3 心理性 1 2 3 4 4 4 4 1 2 3 4 4 4 5 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 2 1	下理 CO2の監視	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上 建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している。インテリアパースにより事前検証を実施 内壁・床に防汚性建材を採用、外部金属部材は亜鉛メッキ処理	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0 3.0 4.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.9 3.8	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50	-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3	運用管 1 2 2 2 3 心理性 1 2 3 4 4 4 4 1 2 3 4 4 4 5 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 2 1	を理	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上 建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している。インテリアパースにより事前検証を実施 内壁・床に防汚性建材を採用、外部金属部材は亜鉛メッキ処理	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0 3.0 3.0 4.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50 0.50 0.50 0.80 0.20	-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3	運用管 1 2 2 3 心理性 1 2 3 3 維持管 1 2 4 耐震: 1 2 8 部品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で理	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	4.5 4.0 5.0 - 3.1 3.0 5.0 1.0 3.0 3.0 4.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.0 4.0 4.0 4.0 4.0	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50 0.50 0.80 0.20 0.30	-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3	運用管 1 2 2 ス性 性 性 1 2 3 心理性 1 2 3 4 4 4 5 6 6 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	で理	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上 建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している。イ ンテリアパースにより事前検証を実施 内壁・床に防汚性建材を採用、外部金属部材は亜鉛メッキ処理 建築基準法×1.25倍の耐震性を計画	4.5 4.0 5.0 1.0 3.0 1.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50 0.50 0.50 0.20 0.20 0.20 0.10	-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3	運用管 1 2 2 2 2 4 性 性 性 1 2 3 3 4 4 4 1 2 3 3 4 4 1 2 2 3 3 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	で理	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	4.5 4.0 5.0 5.0 1.0 3.0 1.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.9 3.8 4.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50 0.50 0.50 0.80 0.20 0.20 0.20	-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3	運用管 1 2 2 ス性 性 性 1 2 3 心理性 1 2 3 4 4 4 5 6 6 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	で理	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	4.5 4.0 5.0 1.0 3.0 1.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50 0.50 0.50 0.20 0.20 0.20 0.10	-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3	運用管 1 2 2 大性 機能性 1 2 3 心理性 1 2 3 4 1 2 2 8 8 1 2 3 3 4 5 5	で理	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上 建物全体のコンセブトや機能が明確であり、内装計画に反映している。インテリアパースにより事前検証を実施 内壁・床に防汚性建材を採用、外部金属部材は亜鉛メッキ処理 建築基準法×1,25倍の耐震性を計画 PC板:60年 床:塗床20年、壁:ケイカル板30年、天井:鋼板40年 給水管:塩ピライニング(B) ボリエチレン(B)、汚水排水管:塩ピ管(B)、冷温	4.5 4.0 3.0 5.0 1.0 3.0 1.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.50 0.50 0.50 0.20 0.20 0.10 0.10	-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3 耐用性 2.1	 運用管 1 2 2 性 性 性 1 2 3 4 5 6 	を理	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上 建物全体のコンセブトや機能が明確であり、内装計画に反映している。インテリアパースにより事前検証を実施 内壁・床に防汚性建材を採用、外部金属部材は亜鉛メッキ処理 建築基準法×1,25倍の耐震性を計画 PC板:60年 床:塗床20年、壁:ケイカル板30年、天井:鋼板40年 給水管:塩ピライニング(B) ボリエチレン(B)、汚水排水管:塩ピ管(B)、冷温	4.5 4.0 5.0 	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.50 0.50 0.50 0.80 0.20 0.20 0.10	-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3 耐用性 2.1	運用管 1 2 2 2 性 1 2 3 3 4 4 5 6 信頼性	で理	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している。インテリアパースにより事前検証を実施 内壁・床に防汚性建材を採用、外部金属部材は亜鉛メッキ処理 建築基準法×1.25倍の耐震性を計画 PC板:60年 床:塗床20年、壁:ケイカル板30年、天井:銅板40年 給水管:塩ピライニング(B)ボリエチレン(B)、汚水排水管:塩ピ管(B)、冷温 水管:配管用炭素銅鋼管(D)、上位3種の2種以上にB、Eは不採用 熱源機器は複数台により冗長化、吊配管などで地震時の被害防止に	4.5 4.0 5.0 1.0 3.0 1.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50 0.50 0.50 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.20	-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3 耐用性 2.1	 運用管 1 2 2 性 性 性 1 2 3 4 5 6 	を理	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上 建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している。イ ンテリアパースにより事前検証を実施 内壁・床に防汚性建材を採用、外部金属部材は亜鉛メッキ処理 建築基準法×1.25倍の耐震性を計画 建築基準法×1.25倍の耐震性を計画 PC板:60年 床:塗床20年、壁:ケイカル板30年、天井:鋼板40年 給水管:塩ピライニング(B)ボリエチレン(B)、汚水排水管:塩ピ管(B)、冷温 水管:配管用炭素鋼鋼管(D)、上位3種の2種以上にB、Eは不採用	4.5 4.0 3.0 5.0 1.0 3.0 1.0 3.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.9 3.8 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 6.0 6.0 6.0 6.0 6.0 6.0 6.0 6	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50 0.50 0.80 0.20 0.30 0.20 0.10 0.10 0.20 0.20	-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3 耐用性 2.1	 運用管 1 2 2 性 世 世 世 世 世 世 日 日<td>で理 CO2の監視 喫煙の制御 使 で</td><td>管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している。インテリアパースにより事前検証を実施 内壁・床に防汚性建材を採用、外部金属部材は亜鉛メッキ処理 建築基準法×1.25倍の耐震性を計画 PC板:60年 床:塗床20年、壁:ケイカル板30年、天井:銅板40年 給水管:塩ピライニング(B)ボリエチレン(B)、汚水排水管:塩ピ管(B)、冷温 水管:配管用炭素銅鋼管(D)、上位3種の2種以上にB、Eは不採用 熱源機器は複数台により冗長化、吊配管などで地震時の被害防止に</td><td>4.5 4.0 3.0 1.0 3.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0</td><td>0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50 0.50 0.50 0.20 0.20 0.10 0.10 0.20 0.20 0.20</td><td></td><td>- - - - - - - - - - - - - - - - - - -</td><td>3.1</td>	で理 CO2の監視 喫煙の制御 使 で	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している。インテリアパースにより事前検証を実施 内壁・床に防汚性建材を採用、外部金属部材は亜鉛メッキ処理 建築基準法×1.25倍の耐震性を計画 PC板:60年 床:塗床20年、壁:ケイカル板30年、天井:銅板40年 給水管:塩ピライニング(B)ボリエチレン(B)、汚水排水管:塩ピ管(B)、冷温 水管:配管用炭素銅鋼管(D)、上位3種の2種以上にB、Eは不採用 熱源機器は複数台により冗長化、吊配管などで地震時の被害防止に	4.5 4.0 3.0 1.0 3.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50 0.50 0.50 0.20 0.20 0.10 0.10 0.20 0.20 0.20		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3 耐用性 2.1	運用管 1 2 2 2 性 1 2 3 3 4 4 5 6 信頼性	で理	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している。インテリアパースにより事前検証を実施 内壁・床に防汚性建材を採用、外部金属部材は亜鉛メッキ処理 建築基準法×1.25倍の耐震性を計画 PC板:60年 床:塗床20年、壁:ケイカル板30年、天井:鋼板40年 給水管:塩ピライング(B)ボリエチレン(B)、汚水排水管:塩ピ管(B)、冷温水管:配管用炭素鋼鋼管(D)、上位3種の2種以上にB、Eは不採用 熱源機器は複数台により冗長化、吊配管などで地震時の被害防止に配慮 節水型器具を過半以上に採用、配管の系統を区分、井水利用を計画	4.5 4.0 5.0 1.0 3.0 1.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50 0.50 0.50 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.20	-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3 耐用性 2.1	 運用管 1 2 2 性 世 世 世 世 世 世 日 日<td>で理 CO2の監視 喫煙の制御 使 で</td><td>管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2</td><td>4.5 4.0 3.0 1.0 3.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0</td><td>0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50 0.50 0.50 0.20 0.20 0.10 0.10 0.20 0.20 0.20</td><td></td><td>- - - - - - - - - - - - - - - - - - -</td><td>3.1</td>	で理 CO2の監視 喫煙の制御 使 で	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	4.5 4.0 3.0 1.0 3.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50 0.50 0.50 0.20 0.20 0.10 0.10 0.20 0.20 0.20		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3 耐用性 2.1	 運用管 1 2 女性 機能性 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 5 6 	を理しての2の監視 「空煙の制御を記さ・使いやすさ」 「広さ・収納性」 「高度情報通信設備対応 「バリアフリー計画と・快適性 「広さ感・景観」 リフレッシュスペース 「内装計画を理しています。 一人では、一人では、一人では、一人では、一人では、一人では、一人では、一人では、	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	4.5 4.0 3.0 1.0 3.0 1.0 3.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 3.0 4.0 3.0 5.0 5.0 3.0 4.0 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.0 4.0 4.0	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.50 0.50 0.5		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1
1	サート 機能性 1.1 1.2 1.3 耐用性 2.1	 運用管 1 2 ** 大性 性 1 2 3 心理性 1 2 3 4 5 6 1 2 	を理	管理マニュアルを整備 全館禁煙にて計画 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 1人当たりの執務スペース9㎡/人以上確保 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	4.5 4.0 5.0 1.0 3.0 1.0 3.0 4.0 4.0 3.5 4.0 3.0 3.9 3.8 4.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.20 0.50 0.50 0.40 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.50 0.50 0.80 0.20 0.20 0.10 0.10 0.20 0.20 0.20		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3.1

R03環004.xlsx スコア

3		at The lat						
		性・更新性		4.1	0.30	-	-	4.1
	3.1	空間のゆとり	Miles and a second	4.6	0.30	-	-	
		1 階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
		2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1以上0.3未満	4.0	0.40	-	-	
	3.2	!荷重のゆとり	床積載荷重4500N/㎡以上	4.0	0.30	-	-	
	3.3	設備の更新性		3.8	0.40	•	-	
		1 空調配管の更新性	設備階を計画	5.0	0.20	-	-	
		2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
		3 電気配線の更新性	ケーブルラック採用	5.0	0.10		_	
		4 通信配線の更新性	ケーブルラック、PF管採用	5.0	0.10			
		5 設備機器の更新性	7 7 7 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1	3.0	0.10			
			1			-	-	
	<u> </u>	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	*	-	0.0
		環境(敷地内)		_	0.30	-	-	3.0
1_	生物理	環境の保全と創出		3.0	0.30	•	-	3.0
ر ا	キセナ	なみ・景観への配慮		3.0	0.40	_	_	3.0
					0.10			
3		性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2	!敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR		物の環境負荷低減性			-		-	3.4
		ルギー		i _	0.40	-		3.5
		外皮の熱負荷抑制	BPI=0.52	5.0	0.20		-	5.0
		バスのおうでは過ぎた。 エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
		エペルヤー利用 システムの高効率化	[DEI][DEI:-] - 0.05	2.7		-		
			[BEI][BEIm] = 0.85	$\overline{}$	0.50	-	-	2.7
4	勿率的	的運用		4.5	0.20	-	-	4.5
		集合住宅以外の評価		4.5	1.00	-	-	
		4.1 モニタリング	中央監視装置設置	4.0	0.50	-	-	
		4.2 運用管理体制	運用時の具体的な実施方策を計画	5.0	0.50	-	-	
		集合住宅の評価			-	-	-	
		4.1 モニタリング	1	-	-	-	-	
		4.2 運用管理体制	1	-	_	-	-	
I R2	咨 源	・マテリアル		_	0.30	-	-	3.6
	水資源			3.8	0.20		_	3.8
l 'r		節水	自動水栓及び節水型便器を過半数以上設置	4.0	0.40	_		
-		- 即水 ! 雨水利用・雑排水等の利用	自動が任める場が主民間と過り数の工匠と	3.7	0.60		_	
	1.2		東 雨水利用あり			-	-	
		1 雨水利用システム導入の有無		4.0	0.70	-	-	
	L	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2		生性資源の使用量削減		3.7	0.60	-	-	3.7
		材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
	2.2	!既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用] -	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生クラッシャラン・路盤材、ビニル床材・床仕上材、ポリスチレン板・断熱材	5.0	0.20	-	-	
		持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.40			
	2.6	却はの再利用可能性向上への取組な		2.0	0.10	-	-	
3		・ 副外の再利用り能注向上への取組の	EPS・PSにより内装材と設備が錯綜しない、移動間仕切り採用	5.0	0.10	-	-	
,			EPS・PSにより内装材と設備が錯綜しない、移動間仕切り採用			-	-	3.4
		物質含有材料の使用回避	EPS・PSにより内装材と設備が錯綜しない、移動間仕切り採用	5.0	0.20		- - -	3.4
	3.1	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用	EPS・PSにより内装材と設備が錯綜しない、移動間仕切り採用	5.0 3.4	0.20 0.20		- - -	3.4
	3.1	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避		5.0 3.4 3.0 3.6	0.20 0.20 0.30 0.70		- - -	3.4
	3.1	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 プロン・ハロンの回避 1 消火剤	不活性がス採用	5.0 3.4 3.0 3.6 4.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33		- - -	3.4
	3.1	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 プロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等)		5.0 3.4 3.0 3.6 4.0 4.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33	- - -	- - -	3.4
I D2	3.1	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	不活性がス採用	5.0 3.4 3.0 3.6 4.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33		- - -	
	3.1 3.2 敷地:	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33	- - -	- - -	3.2
1	3.1 3.2 敷地; 地球;	物質含有材料の使用回避	不活性がス採用	5.0 3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 — 3.4	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.30	-	-	3.2 3.4
1	3.1 3.2 敷地: 地球:	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	5.0 3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 - 3.4 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.30 0.33	- - -	- - -	3.2
1	3.1 3.2 敷地。 地球派 地域系	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	5.0 3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 - 3.4 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.30 0.33 0.33 0.25	-	-	3.2 3.4
1	数地 地球 地域或 2.1 2.2	物質含有材料の使用回避	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	5.0 3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 - 3.4 3.0 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.35 0.50	-	-	3.2 3.4
1	数地 地球 地域或 2.1 2.2	物質含有材料の使用回避	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 - 3.4 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25	-	-	3.2 3.4
1	数地 地球 地域或 2.1 2.2	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 - 3.4 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25	-	-	3.2 3.4
1	数地 地球 地域或 2.1 2.2	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 - 3.4 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25	-	-	3.2 3.4
1	数地 地球 地域或 2.1 2.2	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 - 3.4 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25	-	-	3.2 3.4
1	数地 地球 地域或 2.1 2.2	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 - 3.4 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25	-		3.2 3.4
2	数地。 地球设 2.1 2.2 2.3	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 - 3.4 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25	-	-	3.2 3.4
2	3.1 3.2 敷地線 地域型 2.1 2.2 2.3	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 - 3.4 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25	-	-	3.2 3.4 3.0
2	3.1 3.2 敷地線 地域型 2.1 2.2 2.3	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.4 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.2 3.4 3.0
2	3.1 3.2 敷地線 地域型 2.1 2.2 2.3	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 : 温熱環境悪化の改善 : 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 (環境への配慮) (環境への配慮) (関係) (関係) (関係) (関係) (関係) (関係) (関係) (関係	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.4 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.2 3.4 3.0
2	3.1 3.2 敷地線 地域型 2.1 2.2 2.3	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 1 雨水排水負荷抵減 2 汚水処理負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 乗物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 乗動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.2 3.4 3.0
2	数地域 地域域 2.1 2.2 2.3	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 乗動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動・悪臭の防止	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33 0.33 0.33		-	3.2 3.4 3.0
2	数地域 地域域 2.1 2.2 2.3	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 張動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33 0.33 0.33 0.40		-	3.2 3.4 3.0
2	数地域 地域域 2.1 2.2 2.3	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33 0.33 0.33		-	3.2 3.4 3.0
2	数地域 地域域 2.1 2.2 2.3	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.4 3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.2 3.4 3.0
2	数地域 地域域 2.1 2.2 2.3 3.1	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1	不活性がス採用 ノンフレン断熱材採用	3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.4 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.2 3.4 3.0
2	数地域 地域域 2.1 2.2 2.3 3.1	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1	不活性がス採用 /ソフロン断熱材採用 参照値に対して88%のCO2排出率	3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.2 3.4 3.0
2	数地域 地域域 2.1 2.2 2.3 3.1	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1	不活性がス採用 /ソプロン断熱材採用 参照値に対して88%のCO2排出率	3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.6 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.2 3.4 3.0
2	数地域 地域域 2.1 2.2 2.3 3.1	物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1	不活性がス採用 /ソフロン断熱材採用 参照値に対して88%のCO2排出率	3.0 3.6 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.20 0.30 0.70 0.33 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.2 3.4 3.0